



飯田市 歴研ニュース

News Letter

No. 103

The Iida City Institute
of Historical Research

2019年12月1日 発行

飯田市歴史研究所

〒395-0803

長野県飯田市鼎下山538

TEL 0265-53-4670

FAX 0265-21-1173

E-mail iih@city.iida.nagano.jp



飯田アカデミア2019第90講座

歴史をめぐる新たな事実と新たな視点

—ジャーナリストの視点で歴史を見直す—

2月8日(土)

第1講 13:30~15:00

日本人の歴史観はどう変化したのか

第2講 15:20~16:50

私たちは何を知っているのか

わたなべ のぶゆき

講師 **渡辺 延志**さん (ジャーナリスト・元朝日新聞記者)

会場 **飯田市役所 C棟3階会議室** (飯田市大久保町2534)

資料代 **500円** ※高校生以下無料

※事前の申し込みは不要です。どなたでもお気軽にお越しください。



講義に当たっての思い (主な内容)

新聞記者として20年以上、もっぱら歴史にまつわるニュースの取材をしてきました。歴史学、考古学、人類学、民俗学、さらには関連する自然科学の研究者や学会、研究所、博物館などを巡ってきました。歴史にまつわる新たな研究があふれていました。

日本列島の最初の人類はどこから来たのか。その謎に迫りたいと国立科学博物館の人類学者たちが取り組んできた台湾から沖縄の先島諸島へと手作りの舟で海を渡る実験はそうした研究の一つです。しかし、日本人の古い祖先は、氷河時代に凍っていた海峡を歩いて渡ってきたと学校で習った人も多いはず。 「なぜ舟なの」と疑問を覚える人もいます。実は人類の誕生と進化をめぐる仮説は近年大きく変化しました。考古学や人類学的な新たな知見にくわえ、遺伝子解析や年代測定などの科学技術の急速な発展が歴史研究に新たな可能性をもたらしているのです。その結果見えてきた新たな仮説に沿って、日本列島における人類の歴史の第一ページを書き換えようというのが、この舟による渡海実験なのです。どのような研究によって何が新しくなっているのか。今まで当たり前だと思っていた歴史像とは何だったのか。そんなことを身近な縄文時代を題材に考えてみます。

刷新されているのは古い時代の歴史だけではありません。取材するうちに新たな資料に出会ってきました。手がける研究者が見あたらないので自分で解説に取り組んだものもあります。すると、そこには隠された事実が眠っていました。そうした作業の中から、日本が米国との戦争に踏み出す大きな契機となった日独伊三国軍事同盟と、今年百周年を迎えた朝鮮での三・一独立運動を紹介します。教科書にも載っている歴史上の大きな出来事ですが、今まで知っていると思っていた歴史とは何だったのか。私は何を知っているのかを問うものとなりました。歴史がどのように語られ伝えられるものであるかを考える手がかりにもなるはずです。

古城佐々木徹家文書の調査を行いました

飯田市歴史研究所では、去る9月12・13日に、東京外国語大学吉田ゆり子教授(歴史研究所顧問研究員)のゼミと共同で、阿南町富草古城佐々木徹家に遺された古文書調査を行いました。佐々木氏ご夫妻を含め総勢23人が調査に参加し、土蔵に残された古文書の概要を把握したうえで、古文書1点1点を中性紙封筒に入れて番号を付す「現状記録」と呼ぶ作業を行いました。

佐々木家は、江戸時代に古城村の庄屋役の他、周辺の千木村・雲雀沢村・新井村・和知野村の「付庄屋」も務めた家と言われています。今回の調査でも、古城村の年貢関係史料や宗門改帳、名寄帳などや、古城村の絵図、佐々木家の系図、明治・大正期の手紙やハガキが多く遺されていることが確認できました。2日間の作業の中で、(1)佐々木徹家の系譜の調査、(2)古絵図を使った現在の集落との対比作業、(3)古城村での生業の変遷、という3つの課題解決にも学生たちは取り組みました。

10月からは飯田市歴史研究所において、史料1点ごとの目録作成作業も始めました。今後、佐々木徹家文書を通して、古城村や周辺地域の歴史を明らかにすることができるものと期待しています。

飯田アカデミア2019第89講座

幕末維新期の新吉原遊廓と遊女

12月14日 土

第1講 13:30~15:00

新吉原遊廓の構造と幕末期の動揺

第2講 15:20~16:50

遊女屋経営と
寺社名目金貸付

12月15日 日

第3講 10:00~11:30

新吉原遊廓の動揺

第4講 13:00~14:30

遊女の日記を読む
一幕末期新吉原遊女たちの素顔



よこやま ゆりこ

講師 **横山 百合子**さん (国立歴史民俗博物館)

会場 **飯田市役所 C棟3階会議室** (飯田市大久保町2534)

資料代 **500円(2日間共通) ※高校生以下無料**

※1講義のみでもご参加いただけます。どなたでもお気軽にお越しください。

地域史講座

天竜川をめぐる村むらの争い
—旧川路村役場文書を素材に—

開催日: **2月1日** 土

時間: 14:00~16:00

報告者: **羽田 真也** (歴史研究所研究員)

会場: **川路公民館 大会議室**

江戸時代半ばより、天竜川をめぐる、右岸の時又村・下川路村と左岸の今田村との間で争いが繰り返されました。耕地の開墾、川除の普請、河原の利用に注目しながら、争論の背景を探ります。

定例研究会

会場: **歴史研究所 研修室**

時間: 14:00~16:00

開催日: **12月21日** 土

報告者: **田中 雅孝**

(歴史研究所調査研究員)

近代下伊那の蚕種業

—一座光寺村・伊那蚕業合名会社の経営—

開催日: **1月18日** 土

報告者: **前澤 健**

(歴史研究所調査研究員)

飯田城下の地子米と上飯田村の町作

—町人の村役負担を巡って—

初心者向け古文書講座を始めます!

昔の文書を読んでみませんか?

初めての人を対象とした古文書講座を開講します。数字や名前の読み方など、ごく簡単なところから始めます。江戸時代の文書を見たことはないけれども興味のある方、これから文書を読みたいと思われている方、ぜひご参加ください。一緒に楽しみながら、この地域の江戸時代を考えてみませんか。

講師: **羽田 真也** (歴史研究所研究員)

会場: **川路公民館 視聴覚室**

時間: 10:15~11:30

定員: 15名

※事前申込みが必要となります。定員になり次第締め切らせていただきますので、お早目にお電話でお申し込みください。

開催日 **1月18日** 土 (0265-53-4670)

2月8日 土

2月22日 土

3月7日 土

3月14日 土

全5回



何と読む
でしょう?

歴研ゼミ&ワークショップ 12月・1月の予定

受講生募集!

会場: **歴史研究所 研修室**

スタッフとともに歴史を学んでみませんか。

満洲移民研究ゼミ

担当: **本島和人** (調査研究員) **齊藤俊江** (調査研究員)

第99回 12月7日 / 第100回 1月11日

(第1土曜日) 10:00~11:40 ※1月11日は13:30~15:00

近現代史ゼミ

担当: **田中雅孝** (調査研究員)

12月14日 ※アカデミア第89講座聴講
/ 1月11日・25日 10:00~11:40

地域史ゼミ

担当: **太田仙一** (研究員)

12月13日・27日 / 1月10日・24日
(第2・第4金曜日) 18:30~20:30

近世史ゼミ

担当: **羽田真也** (研究員)

12月25日 / 1月22日
(第4水曜日) 18:30~20:30

建築史ゼミ

担当: **福村任生** (研究員)

12月20日 / 1月17日
(第3金曜日) 19:00~20:30

思想史ワークショップ

市民の皆さんが自主的に学び合う場

12月4日 / 1月15日
19:00~20:40

お知らせ

自分史ワークショップ

しばらく活動休止いたします。

ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL: 0265-53-4670

開所時間: 午前9時~午後5時 休所日: 日曜日・月曜日・祝日・12月29日~1月3日